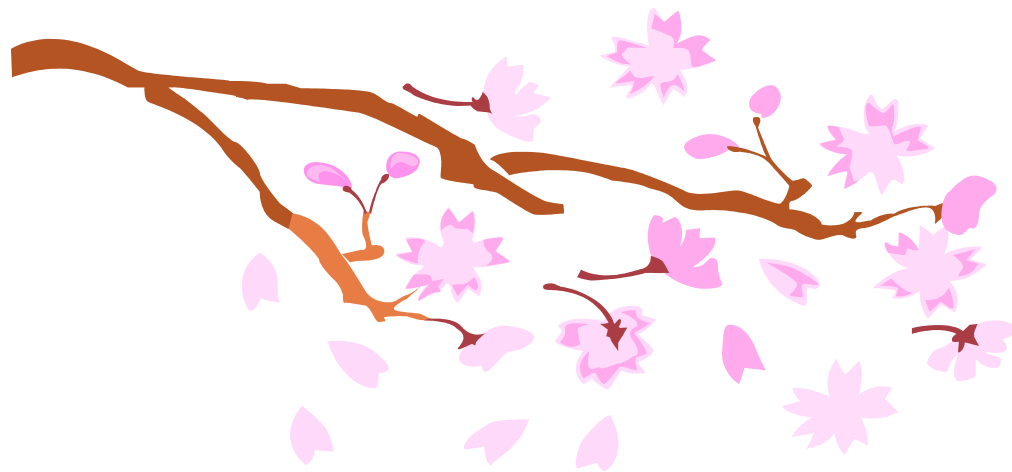


平成30年度

学校評価結果資料



文京区立駕籠町小学校

目 次

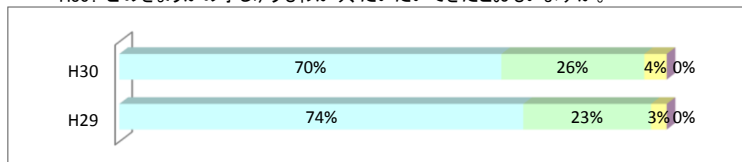
・ 学校生活についてのアンケート（児童）	・・・	1
・ 学校教育活動に関する保護者アンケート	・・・	4
・ 自己評価（教職員）	・・・	6
・ 学校運営連絡協議会のご意見	・・・	9

学校生活についてのアンケート(児童) 分析及び考察

■ A: そう思う ■ B: ややそう思う ■ C: あまりそう思わない ■ D: そう思わない

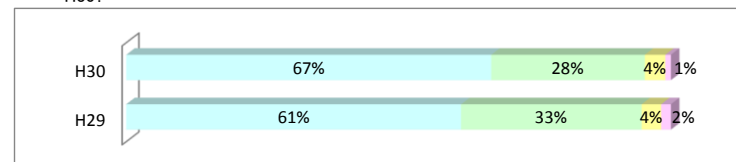
1

H30: どのきょうかの学しゅうもわかり、だいたいできたとおもいますか。



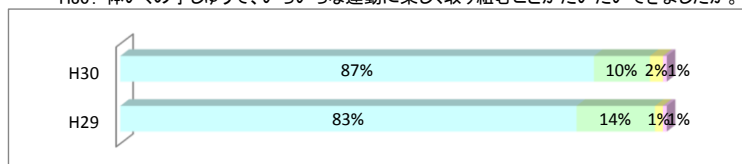
2

H30: 友だちと、わからないことをそうだんしたり、こまっているともだちをたすけたりしながら、べんきょうできましたか。



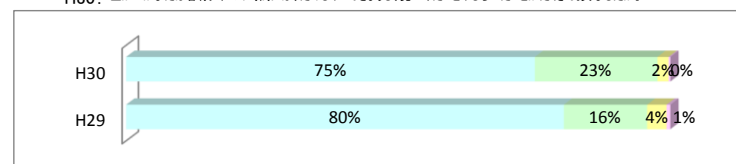
3

H30: 体いくの学しゅうで、いろいろな運動に楽しく取り組むことがだいたいできましたか。



4

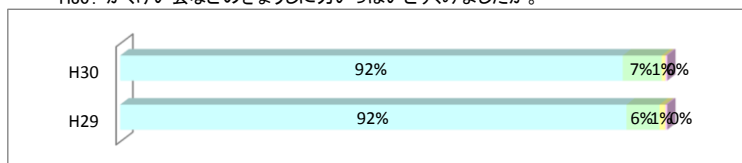
H30: 生かつかまたは若竹タイムの時間には、たのしくべんきょうし、見つけたことやしらべたことがたくさんありましたか。



5

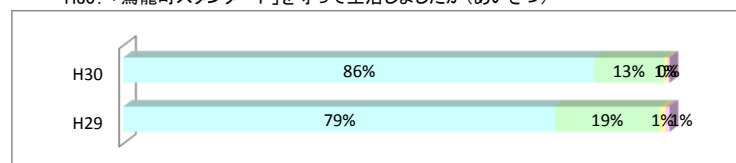
H29: うんどう会、てんらん会などのぎょうじにかいっぱいとりくみましたか。

H30: がくげい会などのぎょうじにかいっぱいとりくみましたか。



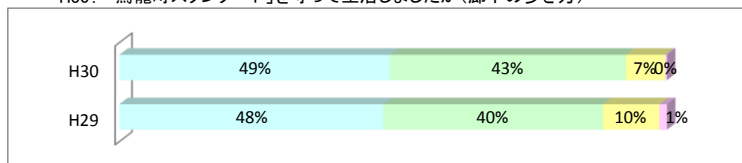
6-1

H30: 「駕籠町スタンダード」を守って生活しましたか(あいさつ)



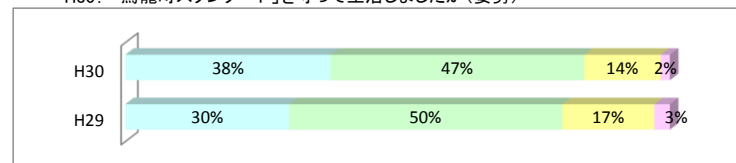
6-2

H30: 「駕籠町スタンダード」を守って生活しましたか(廊下の歩き方)



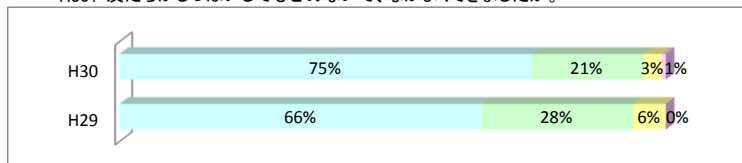
6-3

H30: 「駕籠町スタンダード」を守って生活しましたか(姿勢)



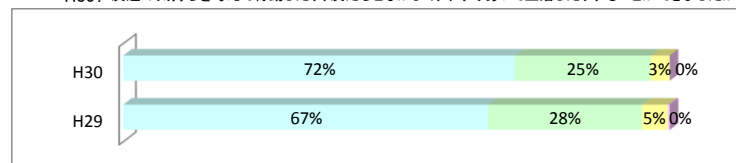
7

H30: 友だちがしっぱいしてもせめないで、なかよくできましたか。



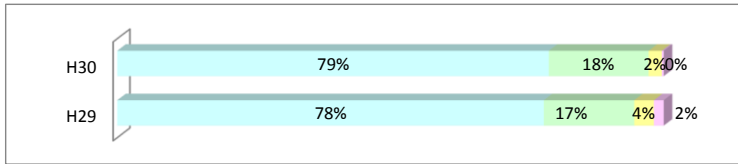
8

H30: 友達の気持ちを考えて行動したり、友だちとなかよく、ゆずりあって生活したりすることができましたか。



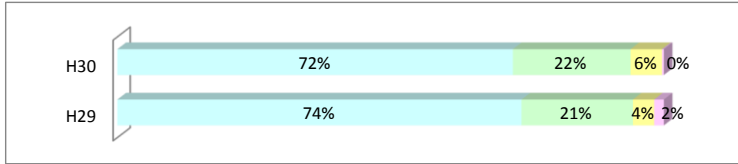
9

H30: 休みじかんは、そとでげんきよく、あそんでいますか。



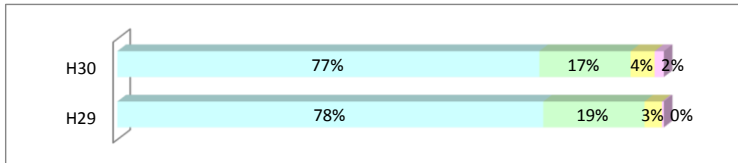
11

H30: おうちの人に学校でのようすをはなしていますか。また、おたよりなどをわたしていますか。



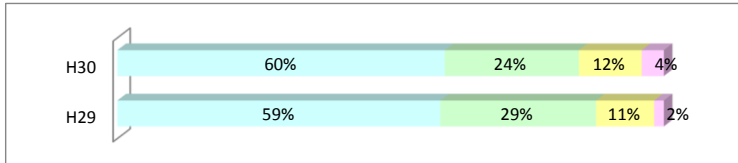
13

H30: 先生とあんしんしてお話ができますか。



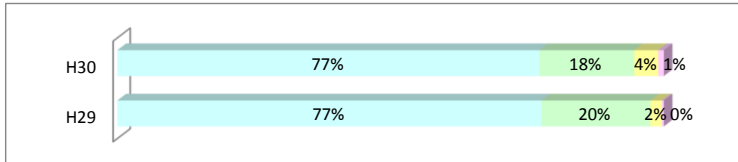
15

H30: あなたは自分のことが好きですか。



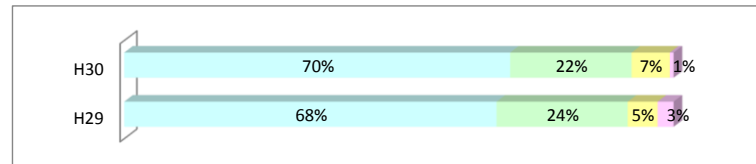
17

H30: あなたは他の人(親・先生・友達など)から大切にされていると思いますか。



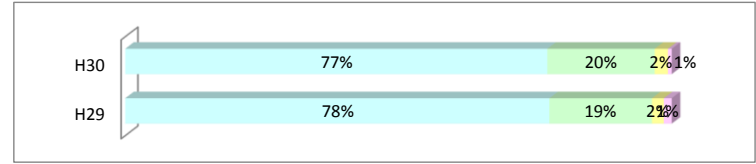
10

H30: きゅうしょくは、マナーをまもり、のこさず楽しく食べていますか。



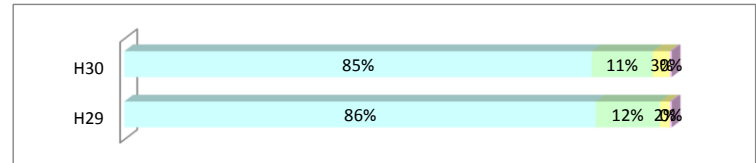
12

H30: じゅぎょうでは、先生に自ぶんの力にあうおしえかたをしてもらっているとおもいますか。



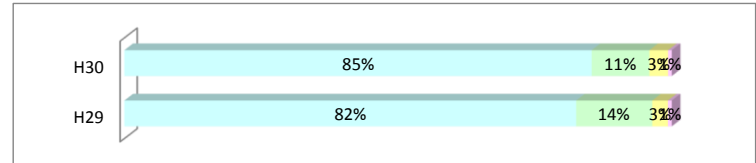
14

H30: クラスの友だちといっしょにあそんだりべんきょうしたりすることが楽しいですか。



16

H30: いま、むちゅうになってとりくめるものがありますか。

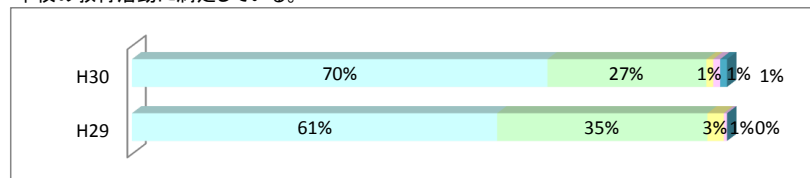


- ほとんどの項目で肯定的な評価が90%に達する結果となった。今後も児童理解に励み、児童一人一人を大切に、それぞれのよさを伸ばす指導ができるよう、複数の目で児童を見る取組を続けていく。
- ・ 項目2 学習に対する達成度についての質問では「そう思う」「ややそう思う」という肯定的な評価をした児童が90%以上であった。29年度に比べ「そう思う」の評価が項目2では6パーセント上がっている。友達と話し合い、友達と自分の考えを比べ学習内容の理解を深めたり、もっと知りたいという意欲を高められるよう、さらに授業改善を進めていく。
- ・ 項目6 駕籠町スタンダードについては、今年度は課題となっていた「あいさつ・廊下歩行・姿勢」質問した。全てにおいて、昨年度に比べて「そう思う」の評価が上まわっている。階段の上り下りを含め、細かく指導したことで、自分の行動を意識して直していることが伺える。引き続き、丁寧な指導を積み重ねていく。
- 項目7・8 項目7では、学校生活全般においての質問をした。ほとんどの児童が、思いやりの気持ちをもって生活することについて、肯定的に評価している。29年度に比べて、「そう思う」の評価が項目7で9%、項目8で5%上がっている。相手の気持ちを考えて行動することのよさをさらに感じられるよう、アサーションを取り入れた指導を続けていく。
- 項目15 28・29年度と同じように、10%を超える児童が否定的な評価をしている。人それぞれのよさは違うものであること、自分のよさも、友達のよさも認め合うことで、学習や生活が豊かになっていくことが児童に伝わるよう指導する。各行事においても、児童一人一人が自分のめあてを設定し、それを達成できるように取り組みができるよう、ねらいを一層明確に児童に提示する。

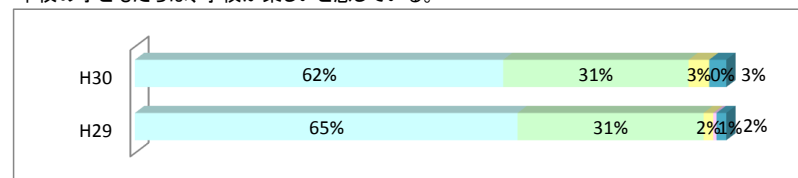
学校教育に関するアンケート(保護者) 分析及び考察 (238世帯中 172世帯提出 回収率72%)

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

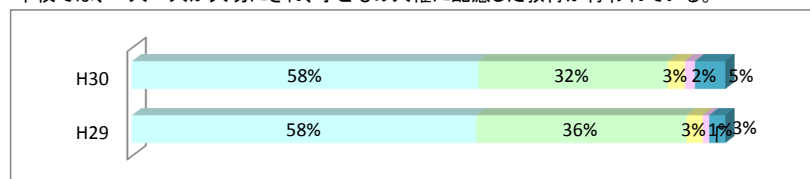
1 本校の教育活動に満足している。



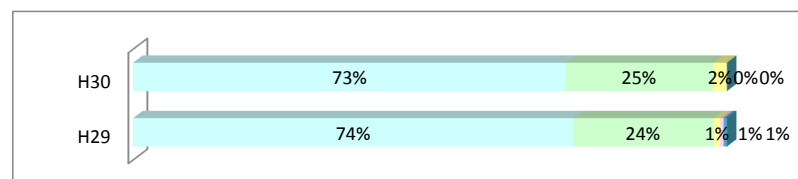
2 本校の子どもたちは、学校が楽しいと感じている。



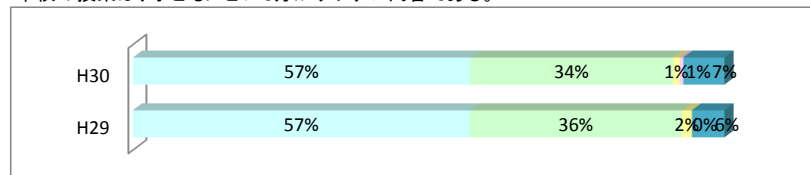
3 本校では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。



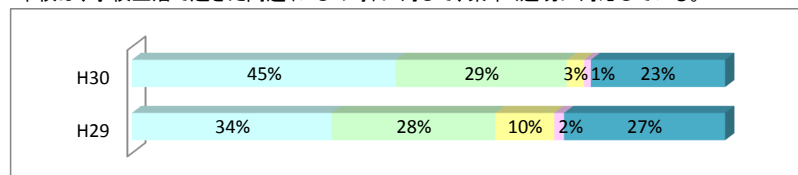
4 本校は、特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいる。(伝統・文化理解教育、オリンピック・パラリンピック教育、体力向上、かごめ班活動、始業前教育活動、習熟度別少人数指導など)



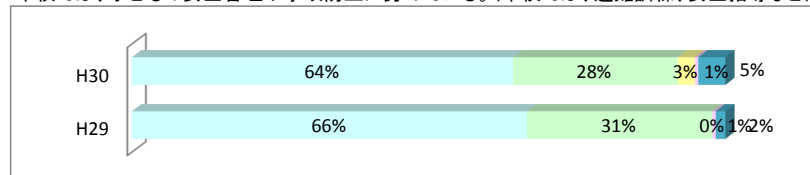
5 本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。



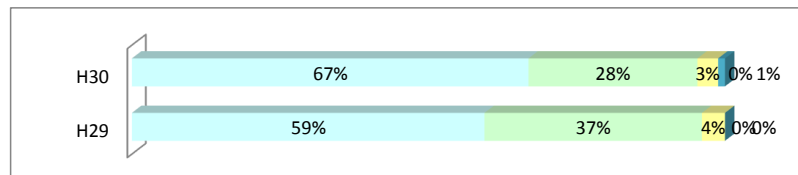
6 本校は、学校生活で起きた問題(いじめ等)に対して、素早く適切に対応している。



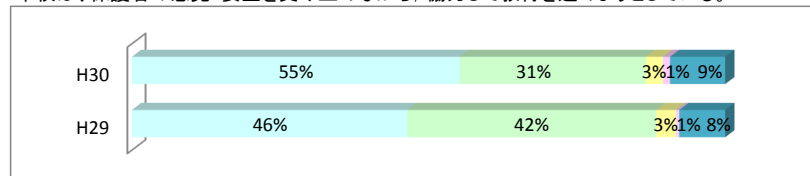
7 本校では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。(本校では、避難訓練、安全指導など)



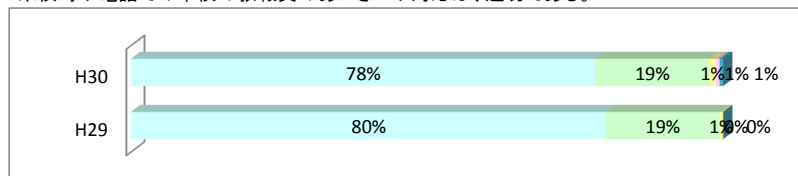
8 本校は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。(本校では、学校便り、学年便り、ホームページなど)



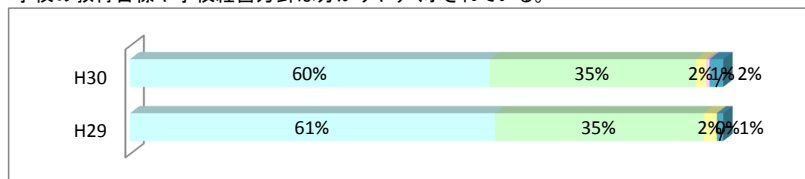
9 本校は、保護者の意見・要望を受け止めながら、協力して教育を進めようとしている。



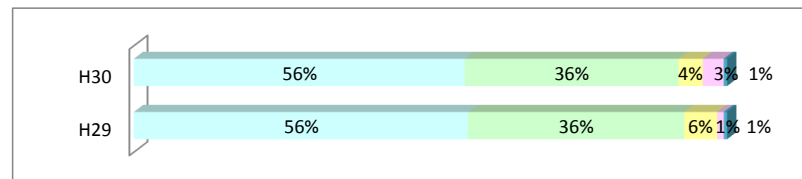
10 来校時や電話での本校の教職員のあいさつや対応は、適切である。



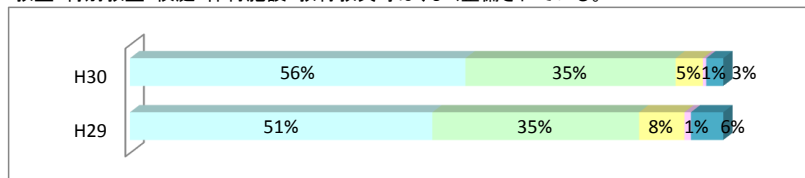
11 学校の教育目標や学校経営方針は分かりやすく示されている。



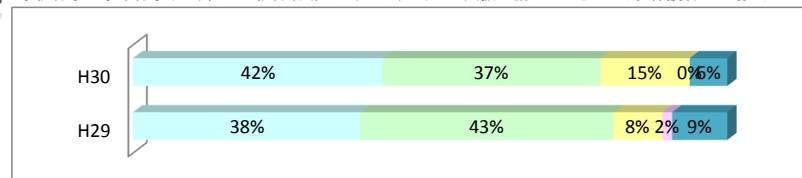
12 学校行事(授業参観等も含む)の開催時期、内容、回数などは、適切である。(年6回の土曜授業公開は区共通)



13 教室・特別教室・校庭・体育施設・教材教具等は、よく整備されている。



14 学校行事や学年行事など、種々の教育活動やボランティアなどに支援や協力ができている。(保護者の立場で)



○ アンケート回収率が、全家庭数の72%であったことから、保護者が学校教育活動に対して高い関心をもっていることが分かる。昨年度と同様に、今年度もほとんどの項目で90%以上の肯定的な評価をいただくことができた。

- ・ 設問1 昨年度より「そう思う」という回答が9%増え、「ややそう思う」との合計が97%となっている。本校の教育活動に御理解をいただいていると考える。
- ・ 設問2 「あまりそう思わない」とした御家庭が6家庭あった。引き続き、児童が成就感をもって学習したり行事に取り組むことができるよう、教育活動を充実させるとともに、児童理解に努めていく。
- ・ 設問3 「あまりそう思わない」「思わない」とした御家庭の数は昨年度と変わらないが「分からない」としている御家庭が、9家庭ある。来年度も引き続き「駕籠町いきいき標語」などの人権尊重教育の取組を充実させるとともに、「いのちと心の授業」への保護者の皆様に御参加いただき、御理解いただけるよう実践を発信していきたい。
- ・ 設問4 この項目では、「そう思わない」と「分からない」が0%である。このことから、本校が特色ある学校づくりとして継続的に実施している「伝統文化理解教育」「オリンピック・パラリンピック教育」「体力向上タイム」「かごめ班活動」等の取組が、保護者の皆様に見えるかたちで伝わっているということが伺える。
- ・ 設問6 この項目では、昨年度より「あまりそう思わない」という回答が10%から3%に減少し、「分からない」という回答も4%減っている。これからも、学校生活で起きた問題に対して組織的な対応をするとともに、「いじめアンケート」の結果を踏まえて、児童一人一人からの聞き取りをしっかりと行い、迅速に対応していくことが大切であると考える。
- ・ 設問7 「そう思う」「ややそう思う」という回答を合計すると90%を超えているが「あまりそう思わない」という回答が0%から3%に増えている。今後も避難訓練や安全指導を充実させるとともに、「ヒヤリ・ハット」の場面を見逃さずに指導することで、怪我や事故の防止に努めたい。
- ・ 設問9 「そう思う」という回答が昨年度と比較して9%増えている。今後も保護者の皆様や地域の皆様と連携を図りながら、教育活動の充実に努めていきたい。
- ・ 設問13 学校快適化工事で校舎の中がきれいになったことで、昨年度より「そう思う」「ややそう思う」という回答が増えた。

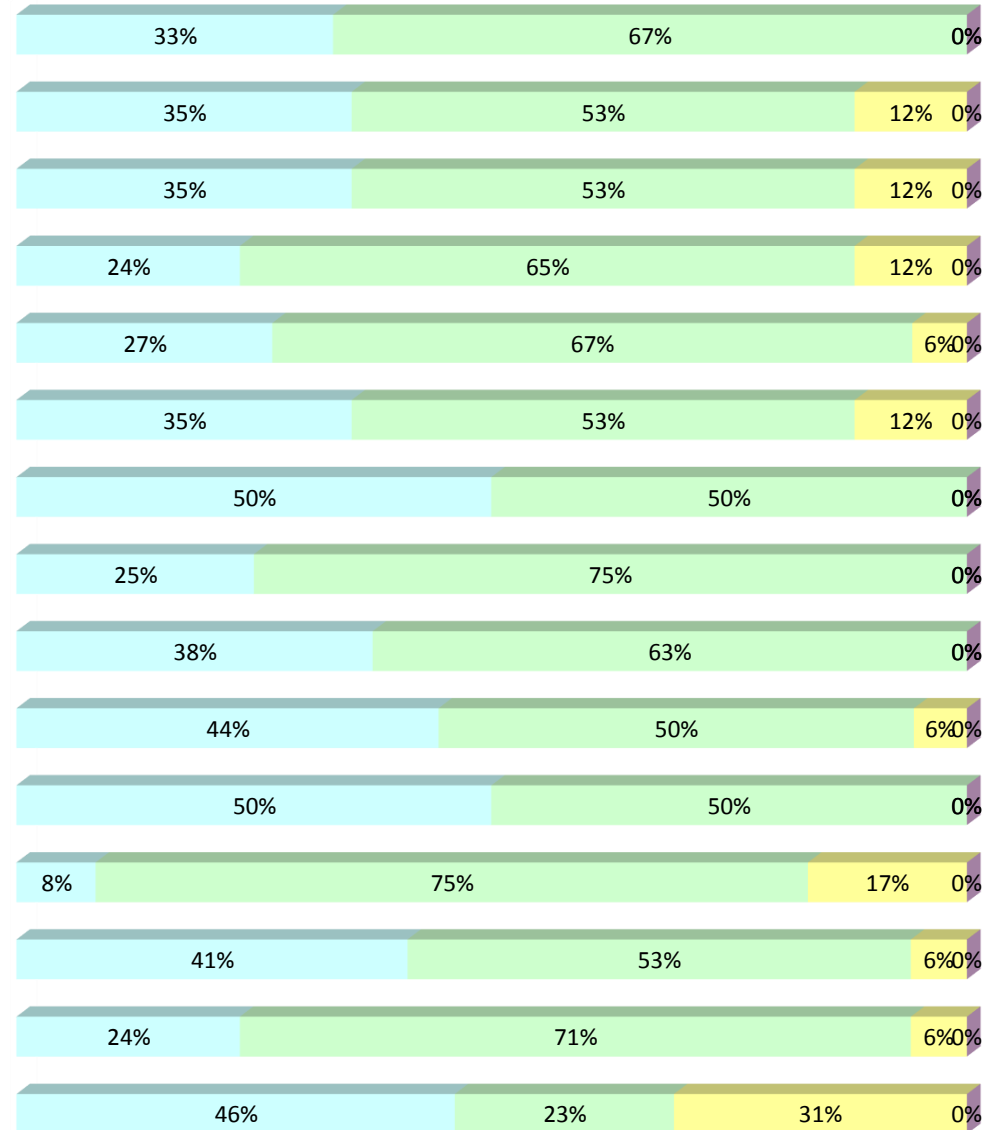
○ 今年度も、昨年度と同様に、ほとんどの項目で90%以上のご家庭から肯定的な評価をいただいているが、「そう思わない」「分からない」という回答が多い項目を中心に教育活動の充実を図り、父母と先生の会の運営委員会や学校だより、ホームページ等を通して発信するとともに、保護者の皆様の願いを受け止められるよう、教職員一同、緊張感をもって教育活動を推進していく。

平成30年度 自己評価(教職員)

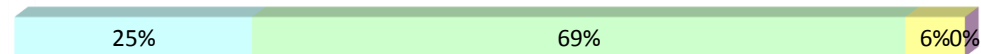
【3】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

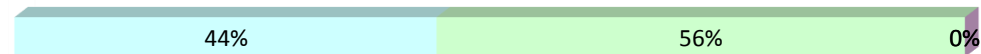
- ① 義務教育9年間を見通し、学習規律の徹底を図りましたか。
- ② 自分の考えを相手に分かりやすく伝えるために、根拠をもって考える授業を工夫し、実践しましたか。
- ③ 思考力・判断力・表現力を高めるために、問題解決的な学習や東京方式の検討場面等の充実を図り、授業を実施しましたか。
- ④ 授業のユニバーサルデザイン化に対応するための指導を実践しましたか。
- ⑤ 若竹タイムや教科の学習において、専門家や外部の人材を活用したり、体験活動を充実したりして、教科等を横断した問題解決的な学習や「探究」活動へと発展させるような学習活動を展開しましたか。
- ⑥ 全ての教科において言語活動を充実させた授業を展開し、言語環境を整え、板書や掲示物にも留意し、正しい日本語を使用しましたか。
- ⑦ 日常から「駕籠町スタンダード」の徹底を図る指導をしましたか。
- ⑧ 「共生」を重点とした道徳の時間を充実して、思いやりの心を育てましたか。
- ⑨ かごめ班活動を充実させ、異学年交流を積極的に進めましたか。
- ⑩ 特別な支援を要する児童への適切な支援をしましたか。
- ⑪ いじめ防止基本方針に基づき、いじめ・不登校の早期発見、再発防止に努めましたか。
- ⑫ 体力・運動能力テストの分析を基にした学習カードの活用等を工夫し、体育の授業を改善・充実しましたか。
- ⑬ 健康・安全についての理解を深め、体力を高めるために、体力向上タイムを生かし、ラジオ体操・なわ跳び等の取組を充実しましたか。
- ⑭ 栄養士や健康トレーナー等と連携し、体力向上、保健・給食指導、食育に力を入れ、望ましい心身の成長を目指しましたか。
- ⑮ 地域の人材・施設・自然環境を生かした活動を取り入れ、地域への愛着を深める教育活動を進めましたか。



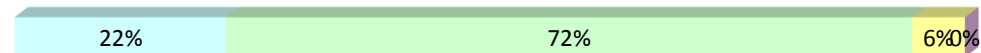
⑩ 地域と連携してキャリア教育の視点で体験活動を充実させ、清掃活動、給食当番、係活動を指導し、勤労観を育成しましたか。



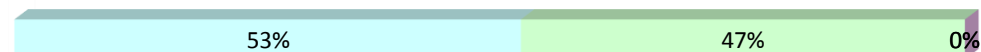
⑪ 保護者の意見を大切にし、保護者と協力して教育を進めていますか。



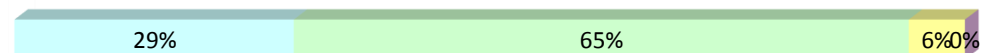
⑫ 学校便りや学年便り、HPや掲示板等、学校から積極的に情報を発信しましたか。



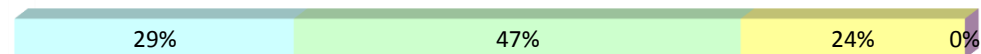
⑬ 特別支援教育の視点に立った授業改善に取り組み、学びの教室との連携を図ることができましたか。



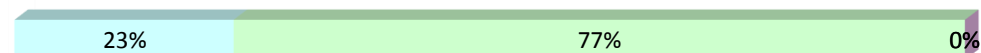
⑭ 実効性が十分に発揮できるように毎月の避難訓練や交通安全指導、セーフティ教室等、安全教育を実施しましたか。



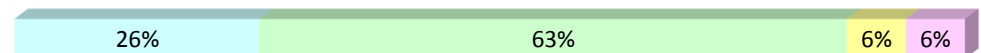
⑮ アサーションプログラム等を活用してコミュニケーション能力を育成しましたか。



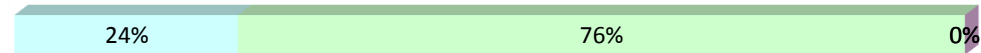
⑯ 保育園、幼稚園との連携や中学校との連携を目指したり、スタートカリキュラムやアプローチカリキュラム等を実施したりしましたか。



⑰ 各種会議の精選と充実に取り組みとともに、計画-実行-検討-再改善(PDCA)というサイクルに則り、分掌組織を円滑に遂行しましたか。



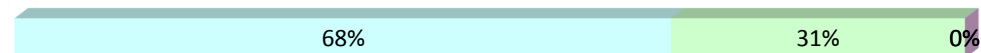
⑱ 日常的にOJTを実施し、自身の資質向上に役立てましたか。



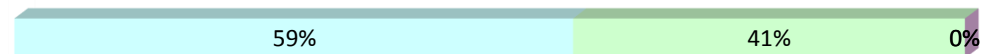
⑲ 施設設備、教材・教具等、学習環境の整備について十分だと思いますか。



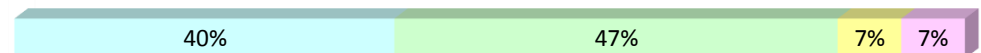
⑳ 授業中や電話等の対応で、教職員として言葉遣いに気を付けましたか。



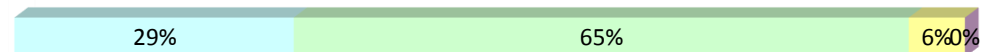
㉑ 予算編成は適切に行われ、確実に執行されたと思いますか。



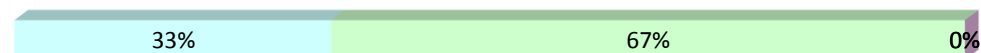
㉒ 日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度を育成する教育にすすんで取り組みましたか。



㉓ オリンピック・パラリンピック教育にすすんで取り組みましたか。



㉔ 学校カパワーアップ事業に関わる活動(体力の向上、キャリア教育の充実、指導力の向上、日本の伝統・文化理解教育の推進等)にすすんで取り組みましたか。



平成30年度 学校評価(教職員)分析

- 全30項目中27項目で、「そう思う」「ややそう思う」を合わせると80%を超える。しかし、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答している教職員が20%前後いる。今年度は、昨年度に引き続き次期学習指導要領完全実施に向け、授業改善等をする1年間であった。授業改善等が試行錯誤中の結果であると同える。
- ・ 項目2・3・5・6 学習指導に関しては、目指すところに到達していないと感じている教職員が6～12%いる。「特別の教科道徳」「外国語・外国語活動」は今年度から、他教科は平成32年度から次期学習指導要領の実施となる。今後も、校内研究やOJT、区の研究会などを活用しながら情報を共有する必要がある。また、授業を通して、児童にどのような資質や能力を育てていけばよいのかを明確にし、授業改善を行っていく必要がある。
- ・ 項目4・10 教育活動のユニバーサルデザイン化を目指して、時計や生活目標等の教室掲示を統一し、どの教室に行っても、視覚への刺激の少ない、集中できる環境になるようにした。また、学びの教室の巡回指導教員を講師として、特別な支援が必要な児童への指導についての研修会を行った。そして、特別支援教育の視点から、板書、掲示物などを工夫し、全児童がわかりやすく学習できるよう努めた。今後も駕籠町小学校の児童に合わせた、教育活動のユニバーサルデザイン化を進めていく。
- ・ 項目8 昨年度同様に道徳では、「共生」と「思いやりの心」を育む指導に重点をおいてきた。「そう思う」「ややそう思う」を合わせると100%となり、全教職員が児童に「思いやりの心」を育む指導を意識して行っていたことが分かる。指導の成果はすぐに表れることではないため、今後も道徳教育の充実を目指していく必要がある。また、保護者・地域の方々とも協力しながら子供たちに「共生」の心を育てていくように、道徳授業地区公開講座などを活用して、情報を発信していく。
- ・ 項目11 いじめなどについては、児童に対する学期毎のアンケートや、毎週木曜日に児童の情報共有の時間を設けるなどして、未然防止対策を行っている。そして、必要に応じてスクールカウンセラーや教育センターなどの外部機関とも連携を図れる体制は整っている。また、保護者に対しては、「いじめの未然防止・早期発見の取組計画」を4月の保護者会時に配布し、家庭との連携を図っている。今後も、全教職員が未然防止・早期発見に努めていると回答できるように、これらの取組の充実を行っていく。
- ・ 項目12・13・14 平成27年度までの体育の研究の成果を基に、運動のポイントについて指導をしたり、運動の場を工夫したりする等、体育の授業の充実を図った。また、教育センターから派遣された健康トレーナーによる陸上運動の専門的な指導や、キャリア教育の視点でのスポーツとの関わりについての講話などは、運動意欲を高めるきっかけとなった。この実績を今後につなげていきたい。
- ・ 項目15 地域の人材を活用した茶道教室、地域にある東洋文庫の見学等、地域への愛着を深める教育活動を進めている。今後も地域教材を生かした教育活動を行っていけるよう年間指導計画に位置付ける。
- ・ 項目16・28・29 地域や東京都、日本への愛着を深める教育活動になるよう、オリンピック・パラリンピック教育をはじめ、各教科、総合などを通して日本の伝統文化にふれる機会を設け、地域の人材・施設の活用などの実績を今後へ引き継ぎ、更によりよいものとしていく。
- ・ 項目21 アサーション(相互尊重・相互理解を深める)プログラムの内容は、日頃の教育活動の中で実際に行っているが、位置づけが明確でなかったため「そう思う」「ややそう思う」を合わせて76%であった。文京区が発行しているアサーションプログラムを再度見直し、具体的、实际的に教育活動に生かしていけるよう計画を工夫する。
- ・ 項目25 施設に関しては、毎月の安全点検を通して、校内での生活が安心・安全に送れるか確認を行っている。また、教材教具については、次期学習指導要領に伴う新しい学習内容に必要なものは、引き続き計画的に購入し、整備していく。学級増に伴い、児童の作品や教材教具を保管する場所が限られていることなどから、自己評価の数値が他の項目よりも低い。家庭科室、理科室等の特別教室の整備については、父母と先生の会とも連携し、引き続き区への要望事項としていく。校庭は次年度改修する予定である。

学校運営連絡協議会の皆様のご意見

○ ご意見の総括

児童・保護者共に肯定的評価が90%に達する等、実に良好な結果となっている。

教職員の自己評価でも、1/3の項目で肯定的な評価が100%であり、「チーム駕籠小」として、学校経営方針が年度のはじめにしっかりと示されていたことで、教職員が組織的に具現化に向けて取り組んだことがよく分かる結果である。

・ 確かな学力

児童へ学習の理解度を問う項目は、昨年度以上に高い評価である。研究授業等でより一層授業力を向上させてほしい。

・ 豊かな人間性

児童一人一人が友人を思いやる気持ちをもっていることが分かる。「自分のことが好き」に否定的な児童がいるので、ほめて自信をもたせてほしい。

・ 心身の健康と体力の向上

休み時間に外で元気よく遊んでいる児童が増加している。今後もより一層充実させた取組を続けてほしい。

・ 特色ある教育活動

「伝統文化理解教育」「かごめ班活動」等の取組が継続して行えている。今後もより一層充実させた取組を続けてほしい。

○ その他のご意見

・ 学校施設の整備は、半分の方が十分ではないと思っているので、ぜひ整備してほしい。

・ 「駕籠町スタンダード」の取組については、児童に対して分かりやすい、統一的な指導を全教職員で行なおうという姿勢がうかがえる。

・ 100%の“そう思う”だけがゴールでは決していないと思うが、やや機械的な結果に一抹の不安は残る。今回、評価結果資料を、しっかり時間を掛けて確認できたことは非常によかった。

・ 心配事としては、やはり「いじめ」である。現在、通信器機の発達により、学校活動内では表面化しない「陰」の部分に光をあてる工夫・洞察・対応をお願いしたい。次年度予定の校庭の改修工事にともない、色々と児童にストレスがかかる事が予想される。衝突事故等を軽減するために、周辺視野の発達を意識した体育授業を希望する。